

# 平成22年度 えびなっ子サマースクール 実施報告書

## 1 日時及び参加学校

平成22年7月21日	午前9時～10時50分	海老名市立社家小学校
平成22年7月22日	午前9時～10時50分	海老名市立門沢橋小学校
平成22年7月27日	午前9時～10時50分	海老名市立有馬小学校
平成22年7月29日	午前9時～10時50分	海老名市立中新田小学校

## 2 参加者

社家小	5～6年生	10名	(2名欠席)
門沢橋小	5～6年生	22名	
有馬小	5～6年生	9名	(8名欠席)
中新田小	5～6年生	24名	

## 3 実施内容

### (1) 社家小



8時45分にサマースクール参加者、全員が体育館に集合し、朝の会を行う。健康観察、スクールマスターのお話、本日の予定の確認を行う。  
全員が、それぞれの活動場所へ移動する。

### 1 時限目 (9時～9時50分)

特活室に集合し、橋本代表が挨拶と参加者の紹介を行う。

活動の内容説明を行い、グラウンドに移動する。

グラウンドで、ロープワークとして、ブルーシートを使用して玉を使った巻き結びと鉄棒を使用しての自在結びを実施した。

巻き結びは全員上手く出来たが、自在結びは、指導の下手際があり、上手く出来なかった。

2班に分かれ、それぞれブルーシートを使用した、三角テントを設営した。ここで、玉を使った巻き結びを3箇所行い、支柱を同じく巻き結びで止める。これは上手く出来、無事にテントが完成した。

なお、自在結びは参加者が実施した。ハンマーを使用してのペグの打込みなど、全員が何らかの行為を行い完成させることができた。

テントを撤収し、特活室に再び移動する。



## 2時限目（10時～10時50分）



特活室で、また2班に分かれ、防災カルタを行った。  
小学生にとっては、内容よりも、勝負の世界に気を取られ、説明をほとんど聞いていない子が多いようであった。  
気を引くように、質問をしたり、意見を聴いたりしたのであるが、どうしても勝ち負けにこだわっていたようである。  
手の甲に小さな傷をつけた子がいたので、傷テープで治療した。カルタを取るときに傷をつけたようである。

橋本代表が終わりの挨拶をして終了した。  
掃除をして終了。

## (2) 門沢橋小



門沢橋小でも、社家小と同様に朝の会を行い、それぞれの活動場所に移動した。

## 1時限目（9時～9時50分）

特活室に集合し、橋本代表が挨拶と参加者の紹介を行う。  
活動の内容説明を行い、グラウンドに移動する。



グラウンドでのロープワークは、社家小と同じであるが、鉄棒を使用しての自在結びは、ペグ結びを実施した。  
自在結びは、社家小で上手く出来なかったため、簡易型のペグ結びを行ったが、やはり上手くできなかった。

2班に分かれ、それぞれブルーシートを使用した、三角テントを設営した。  
ここでも、社家小と同じに、全員が何らかの行為を行い完成させることができた。



テントを撤収し、特活室に再び移動する。

## 2時限目（10時～10時50分）

特活室で、ガラスの破片の怖さの疑似体験として全員で卵の殻踏みを実施した。素足で踏むと、卵の殻でも痛さは感じられるが、小学生には、ガラスの怖さを感じ取るよりも、足の裏についた卵の殻を落とす方に注意が向いていたようである。足の裏の汗で、卵の殻がたくさん付いてしまい、卵の殻を入れたトロ舟の外でも痛さを感じるため、夏の時期での卵の殻踏みは注意が必要と感じた。協力していただいた保護者ボランティアの方、指導の先生にも疑似体験をしていただいた。

終了後、片付けを行う。

次に、新聞紙を使用したスリッパの折り紙を全員で行った。三分の一に折ることが良く理解出来ない子や裏表を間違える子もいたが、全員上手く完成させることができ、早速、履いてみて感触を味わっていた。新聞紙の印刷インクのため、板張りの床では滑ることから、それを楽しんでいる子もいた。以前に折ったことがあるようで、説明を聴かずに完成させた子もいた。

橋本代表が終わりの挨拶をして終了した。  
掃除をして終了。

### (3) 有馬小

## 1時限目（9時～9時50分）



特活室に集合し、橋本代表が挨拶と参加者の紹介を行う。  
活動の内容説明を行い、グラウンドに移動する。

グラウンドでのロープワークは、社家小と同じであるが、鉄棒を使用しての自在結び及びペグ結びは社家小や門沢橋小で上手く出来なかったため、実施しなかった。

2班に分かれ、それぞれブルーシートを使用した、三角テントを設営した。ここでも、社家小と同じに、全員が何らかの行為を行い完成させることができた。  
テントを撤収し、特活室に再び移動する。

## 2時限目（10時～10時50分）



特活室で、また2班に分かれ、防災カルタを行った。社家小と同様に、小学生にとっては、内容よりも、勝負の世界に気を取られ、説明をほとんど聞いていないようであった。どうしても勝ち負けにこだわってしまうようである。早く終了したので、取った札について意見を述べてもらった。しっかりとした意見を述べた子や勝ち負けにこだわり過ぎて内容を述べられない子もいたが、皆楽しそうであった。

橋本代表が終わりの挨拶をして終了した。  
掃除をして終了。

#### (4) 中新田小

##### 1 時限目（9時～9時50分）



朝から雨であり、グラウンドでの三角テント設営が出来なく、教室内で三角テントを設営することにした。

教室に集合し、橋本代表が挨拶と参加者の紹介を行う。活動の内容説明を行い、2班に分かれ、一班は残り、一班は隣の教室に移動した。

ロープワークは、有馬小と同様に、ブルーシートを使用して玉を使った巻き結びだけを行い、教室内ではペグが打てないので、紙を折りペグの代わりにする折り紙を実施した。ここでも、他の3校と同じに、全員が何らかの行為を行い完成させることができた。

テントを撤収し、最初の教室に集合した。

グラウンドとの移動がなくなり、早く終了してしまい、2時限目を早く始めた。

##### 2 時限目（10時～10時50分）



教室で、門沢橋小と同様にガラスの破片の怖さの疑似体験として全員で卵の殻踏みを実施した。痛いだらうとの先入観から、一步の踏み出しを躊躇する子が多かったのが、門沢橋小と違っていた。また、トロ舟を飛び越えてしまい、トロ舟の外に落ちていた卵の殻で足の指に小さな傷をつけてしまった子もいた。（傷テープで治療する。）

協力していただいた保護者ボランティアの方、にも疑似体験をしていただいた。

終了後、片付けを行う。



次に、新聞紙を使用したスリッパの折り紙を全員で行った。ここでも門沢橋小と同様に三分の一に折ることが良く理解出来ない子や裏表を間違える子もいたが、全員上手く完成させることができ、早速、履いてみて感触を味わっていた。

橋本代表が終わりの挨拶をして終了した。掃除をして終了。

#### 4 後書き

えびなっ子サマースクールは今年で2年目ですが、海老名災ボラの参加は初めてで、まだ、子ども達への対応にどうしても試行錯誤の状態にあります。ロープワークの内容や指導の問題、カルタというゲームの実施の問題等々、不備な面が多々ありましたが、子ども達が楽しそうにしていたことで救われました。不備な面等については、来年度以降に向けて研究・検討していくことにします。

充分気をつけていたのですが、2名が小さな傷を負ったこと、傷テープで治療しましたが、反省の材料になりました。

子ども達は、1時限目の初めは、緊張して固い顔をしていましたが、段々笑顔が出てき、2時限目になると、明るい笑顔になったことで、サマースクールに参加して良かったと思いました。

参加した子ども達が、2時間の体験の中で、災害に常々対応しようとしている大人達がいることを少しでも感じていただけたのではないかと、また災害の時、自分の命は自分で守る、という橋本代表の終わりの挨拶で述べたことを、記憶のどこかに留めていただけることを信じています。

橋本代表を始め、暑い時期に参加御協力下された海老名災ボラの皆様のお陰で無事にサマースクールが終了出来ましたことに厚く御礼申し上げます。